

まずはやってみる

先日、嵐というアイドルグループが活動終了となりました。最終公演は全世界で配信され、多くの国から感動の嵐が起きました。それぞれが最後に放った言葉の中に、たくさんの名言がありました。その中で私が響いたのは【**できるからやるんじゃない。できないからやらないじゃない。やるんです。**】でした。当法人の前理事長が生前に【**何事も DO! DO! DO!**】と言っていたこと、保育士専門学校の最後の担任から【**できるならやる、できそうなことはやってみる、できなさそうなことは準備をしてできるようにする**】という言葉思い出しました。

今回のラストツアーですが、私にとっては奇跡が起き、福岡の paypay ドームでその雄姿を見ることができました。

それまで東京ドーム他、全国の主要ドームへ足を運んでいましたが、実は福岡だけは避けていました。

「日帰りが難しい」「最寄り駅から遠い」「明太子もラーメンも苦手だし……」と、行かない理由を並べては選択肢から外していたのです。しかし落選を経て、特例とも言える三次抽選で滑り込めたのが、まさかの福岡でした。

いざ福岡に行ってみると想像外の出来事が待っていました。最寄りから思っていたほど歩かないし、会場の構造が良く二階がほぼないからこそ、ステージを近くで見られました。明太子やラーメン以外にもおいしいものを食べられたこと、会場の近くで食べたパフェの味が別格！そして何もよりも隣に座った見ず知らずの人と意気投合し友達にもなれました。

もちろん訪れた中での反省もあります。帰る日に無計画で動き時間を無駄にし、太宰府天満宮に行かれなかったこと、ごぼ天うどんを食べそこねたことなど多々あります。

しかしこれも全てやってみたからわかったこと。机上の空論ではなく、経験したからこそ、もしもう一度福岡へ行くことがあったらどうやって行動するか。未来に活かすことができます。

この「やってみる」は日々の保育現場でも同じだなと感じました。子どもはどうしたら喜ぶかな？こうやったらいいかな？と試行錯誤の繰り返しです。やってみなければ何も始まりません。

それは子どもでも同じだと思います。近年さまざまな活動で「やりたくない」という子どもが増えたなど感じます。私自身、無理にやる必要はないと思っていますが、経験はしてほしいと思う気持ちもあり、理由を必ず尋ねます。「負けるから」「楽しくないから」「自信がない」さまざまです。話をしていく中で「1回やってみたら？それで嫌だったら見学でも、別の遊びでもなんでもいい」ことを伝えるようにしています。そうすることで大体の子どもは参加してそのまま活動が続けるのがほとんどですが、やっぱり合わず1回でやめる子もいます。それでもいいんです。1回という約束でしたから。今の自分に合わない、ということを知ることも立派な経験で学びです。

【なにごとにもまずはやってみる】

やってみた先には想像を超える新しい気付きや出会いが待っているかもしれません。皆さんも困ったり行き詰ったりしたら、まずはやってみてはいかがでしょうか？

(長谷川)